

## 岩沼市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

第1条 岩沼市国民健康保険税条例（昭和30年条例第21号）の一部を次のように改正する。

第23条に次の1項を加える。

3 国民健康保険税の納税義務者の世帯に地方税法施行令第56条の89第4項に規定する出産被保険者（以下「出産被保険者」という。）が属する場合における当該納税義務者に対して課する所得割額及び被保険者均等割額（第1項に規定する金額を減額するものとした場合にあっては、その減額後の被保険者均等割額）は、当該所得割額及び被保険者均等割額から、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額を減額して得た額とする。

- (1) 国民健康保険の出産被保険者に係る基礎課税額の所得割額 当該出産被保険者につき第3条の規定により算定した所得割額の12分の1の額に、当該出産被保険者の出産の予定日（地方税法施行規則第24条の30の5に定める場合には、出産の日。以下同じ。）の属する月（以下「出産予定月」という。）の前月（多胎妊娠の場合には、3月前）から出産予定月の翌々月までの期間（以下「産前産後期間」という。）のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額
- (2) 国民健康保険の出産被保険者に係る基礎課税額の被保険者均等割額 当該出産被保険者につき第5条の規定により算定した被保険者均等割額（第1項に規定する金額を減額するものとした場合にあっては、その減額後の被保険者均等割額）の12分の1の額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額
- (3) 国民健康保険の出産被保険者に係る後期高齢者支援金等課税額の所得割額 当該出産被保険者につき第6条の規定により算定した所得割額の12分の1の額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額
- (4) 国民健康保険の出産被保険者に係る後期高齢者支援金等課税額の被保険者均等割額 当該出産被保険者につき第7条の2の規定により算定した被保険者均等割額（第1項に規定する金額を減額するものとした場合にあっては、その減額後の被保険者均等割額）の12分の1の額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額
- (5) 国民健康保険の出産被保険者に係る介護納付金課税額の所得割額 当該出産被保

険者につき第8条の規定により算定した所得割額の12分の1の額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額

- (6) 国民健康保険の出産被保険者に係る介護納付金課税額の被保険者均等割額 当該出産被保険者につき第9条の2の規定により算定した被保険者均等割額（第1項に規定する金額を減額するものとした場合にあっては、その減額後の被保険者均等割額）の12分の1の額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額

第24条の2の次に次の1条を加える。

（出産被保険者に係る届出）

第24条の3 国民健康保険税の納税義務者は、出産被保険者が世帯に属する場合には、次に掲げる事項を記載した届書を市長に提出しなければならない。

- (1) 納税義務者の氏名、住所、生年月日及び個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）第2条第5項に規定する個人番号をいう。以下同じ。）
- (2) 出産被保険者の氏名、住所、生年月日及び個人番号
- (3) 出産の予定日
- (4) 単胎妊娠又は多胎妊娠の別
- (5) その他市長が必要と認める事項

2 前項の届書の提出に当たり、当該納税義務者は、次に掲げる書類を添えなければならない。

- (1) 出産の予定日を明らかにすることができる書類
- (2) 多胎妊娠の場合には、その旨を明らかにすることができる書類
- (3) 出産後に前項に規定する届出を行う場合には、出産した被保険者と当該出産に係る子との身分関係を明らかにすることができる書類

3 第1項の規定による届出は、出産被保険者の出産の予定日の6月前から行うことができる。

4 第1項の規定にかかわらず、市長が、当該出産被保険者について同項各号に掲げる事項及び第2項各号に掲げる書類において明らかにすべき事項を確認することができる場合は、第1項の規定による届出を省略させることができる。

第2条 岩沼市国民健康保険税条例の一部を次のように改正する。

第3条第1項中「100分の6.31」を「100分の7.03」に改める。

第5条中「2万5,100円」を「2万7,000円」に改める。

第5条の2第1号中「1万7,600円」を「1万8,000円」に改め、同条第2号中「8,800円」を「9,000円」に改め、同条第3号中「1万3,200円」を「1万3,500円」に改める。

第6条中「100分の2.44」を「100分の2.81」に改める。

第7条の2中「9,700円」を「1万500円」に改める。

第7条の3第1号中「6,800円」を「6,900円」に改め、同条第2号中「3,400円」を「3,450円」に改め、同条第3号中「5,100円」を「5,175円」に改める。

第8条中「100分の1.94」を「100分の2.44」に改める。

第9条の2中「9,900円」を「1万900円」に改める。

第9条の3中「5,000円」を「5,500円」に改める。

第23条第1項第1号ア中「1万7,570円」を「1万8,900円」に改め、同号イ中「1万2,320円」を「1万2,600円」に、「6,160円」を「6,300円」に、「9,240円」を「9,450円」に改め、同号ウ中「6,790円」を「7,350円」に改め、同号エ中「4,760円」を「4,830円」に、「2,380円」を「2,415円」に、「3,570円」を「3,623円」に改め、同号オ中「6,930円」を「7,630円」に改め、同号カ中「3,500円」を「3,850円」に改め、同項第2号ア中「1万2,550円」を「1万3,500円」に改め、同号イ中「8,800円」を「9,000円」に、「4,400円」を「4,500円」に、「6,600円」を「6,750円」に改め、同号ウ中「4,850円」を「5,250円」に改め、同号エ中「3,400円」を「3,450円」に、「1,700円」を「1,725円」に、「2,550円」を「2,588円」に改め、同号オ中「4,950円」を「5,450円」に改め、同号カ中「2,500円」を「2,750円」に改め、同項第3号ア中「5,020円」を「5,400円」に改め、同号イ中「3,520円」を「3,600円」に、「1,760円」を「1,800円」に、「2,640円」を「2,700円」に改め、同号ウ中「1,940円」を「2,100円」に改め、同号エ中「1,360円」を「1,380円」に、「680円」を「690円」に、「1,020円」を「1,035円」に改め、同号オ中「1,980円」を

「2, 180円」に改め、同号カ中「1, 000円」を「1, 100円」に改め、同条第2項第1号ア中「3, 765円」を「4, 050円」に改め、同号イ中「6, 275円」を「6, 750円」に改め、同号ウ中「1万40円」を「1万800円」に改め、同号エ中「1万2, 550円」を「1万3, 500円」に改め、同項第2号ア中「1, 455円」を「1, 575円」に改め、同号イ中「2, 425円」を「2, 625円」に改め、同号ウ中「3, 880円」を「4, 200円」に改め、同号エ中「4, 850円」を「5, 250円」に改める。

#### 附 則

(施行期日等)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第2条及び附則第4項の規定は、令和6年4月1日から適用する。
- 2 第1条の規定による改正後の岩沼市国民健康保険税条例の規定は、令和6年1月1日から適用する。

(適用区分)

- 3 第1条の規定による改正後の岩沼市国民健康保険税条例の規定は、令和5年度分の国民健康保険税のうち令和6年1月以後の期間に係るもの及び令和6年度以後の年度分の国民健康保険税について適用し、令和5年度分の国民健康保険税のうち令和5年12月以前の期間に係るもの及び令和4年度分までの国民健康保険税については、なお従前の例による。
- 4 第2条の規定による改正後の岩沼市国民健康保険税条例の規定は、令和6年度以後の年度分の国民健康保険税について適用し、令和5年度分までの国民健康保険税については、なお従前の例による。